

ゲンタシン注 10
ゲンタシン注 40
ゲンタシン注 60

【この薬は？】

販売名	ゲンタシン注 10 Gentacin Injection 10	ゲンタシン注 40 Gentacin Injection 40	ゲンタシン注 60 Gentacin Injection 60
一般名	ゲンタマイシン硫酸塩 Gentamicin Sulfate		
含有量 (1アンプル中)	1mL 中		1.5mL 中
	10mg (力価)	40mg (力価)	60mg (力価)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、アミノグリコシド系抗生物質と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、感染症の原因となる細菌を殺菌する作用があります。
- ・次の病気の人に医療機関で使用されます。

<適応症>

敗血症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肺炎、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、中耳炎

<適応菌種>

ゲンタマイシンに感性のブドウ球菌属、大腸菌、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロビデンシア属、緑膿菌

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にゲンタシン注に含まれる成分やアミノグリコシド系抗生物質およびバシトラシンで過敏な反応を経験したことがある人
- 次の人は、原則として、この薬を使用することはできません。
 - ・アミノグリコシド系抗生物質で難聴になった人またはその他の難聴の人
 - ・血縁にアミノグリコシド系抗生物質で難聴になったり、その他の難聴の人がいる人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・腎臓や肝臓に障害のある人
 - ・重症筋無力症の人
 - ・高齢の人
 - ・口から栄養を取りにくい人、口から栄養を取れない人、全身状態の悪い人
 - ・低出生体重児、新生児
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

- ・この薬は注射薬です。
- ・使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において注射されます。
- ・通常、使用する量および回数は、次のとおりです。

[成人の場合]

1日量	体重1kgあたり3mg (最大量は体重1kgあたり5mg)
使用回数	1日量を3回に分けて、筋肉内注射または点滴静注します (増量する場合は1日3~4回に分けます)

[小児の場合]

1回量	体重1kgあたり2.0~2.5mg
使用回数	1日2~3回、筋肉内注射または点滴静注します

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・ショック・アナフィラキシーがあらわれることがあります。体がだるい、ふらつき、目と唇のまわりの腫れ、しゃがれ声、冷や汗、めまい、意識障害などがあらわれたら、ただちに医師に連絡してください。
- ・ふらつき、めまい、耳がきこえにくい、耳鳴り、難聴があらわれることがあります。

ます。これらがあらわれたら、ただちに医師に相談してください。特に腎機能に障害のある人、高齢の人、長期にこの薬を使っている人で、これらがあらわれやすいので、注意してください。また聴力検査がおこなわれることがあります。

- ・急性腎障害などの重篤な腎障害があらわれることがあります。むくみ、尿量が減る、尿が出ないなどの症状があらわれたら、医師に相談してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳中の方は授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。
- ・この薬が十分な効果を発揮し、副作用があらわれるのを防ぐために、血液中の薬の濃度が測定され使用量が調整されます。

副作用は？




特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	からだがだるい、からだのむくみ、疲れやすい、意識の低下、頭痛、眼がはれぼったい、息苦しい、尿がでない、尿量が減る
第8脳神経障害 だいはちのうしんけいしょうがい	ふらつき、めまい、耳が聞こえにくい、耳鳴り、難聴

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷や汗、からだがだるい、からだのむくみ、疲れやすい、ふらつき
頭部	めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、意識の低下、頭痛
顔面	血の気が引く
眼	眼がはれぼったい
耳	耳が聞こえにくい、耳鳴り、難聴
胸部	息切れ、息苦しい
尿	尿がでない、尿量が減る
その他	判断力の低下

【この薬の形は？】

販売名	ゲンタシン注10	ゲンタシン注40	ゲンタシン注60
色	無色澄明	無色澄明	無色澄明
形状			

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ゲンタマイシン硫酸塩
添加物	ベンジルアルコール、乾燥亜硫酸ナトリウム、ピロ亜硫酸ナトリウム

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
製造販売会社：高田製薬株式会社

(<http://www.takata-seiyaku.co.jp>)

学術部

電話：0120-989-813

受付時間：8時30分～17時20分

(土、日、祝日ならびに当社休日を除く)